

町小だより

令和3年
1月15日
No. 655
御免町小学校

「子どもたちの笑顔を思い浮かべながら」

校長 藤井 聡

新年あけましておめでとうございます。

皆様には、様々なところでお世話になります。よろしく願い申し上げます。

本年は丑年です。感染症拡大、大雪・・・困難な状況は多々ありますが、学校は歩みをとめません。牛のように力強く着実に、ゆっくりと歩みを進めてまいります。

「子どもたちの笑顔を思い浮かべながら～雪をかけ！」この言葉の主は、新発田市役所の職員の方です。なぜ、このような言葉が聞かれたのか御説明します。・・・1月13日（水）当校は、大雪で児童の歩道が確保できず、やむを得ず2時間遅れの始業とせざるを得ませんでした。前日の一斉休校の際には、学区内の通学路の安全確認と校舎回りの除雪まではできましたが、児童の通学路の歩道確保までは手が回らず、途方に暮れていました。すると教育委員会から、「市長さんの命により、市の職員が担当課を問わず、町場の学校周辺の除雪に当たることになった」という旨の知らせが届きました。暗闇に一筋の光が差したような気持ちになりました。

そして、13日の朝、実際に10名ほどの職員の方々がスコップを手に駆けつけてくださいました。心から感謝の意を伝えました。「ありがとうございます。」「ありがとうございます。」「助かります。」「気を付けてくださいね。」そう言葉をかけると、「校長先生、任せておいてください！」力強く頼もしい言葉が返ってきました。さらに丁寧に御挨拶をし、数名の当校の職員を残して、私は、校舎に入りました。

数時間後、除雪作業を終えた当校の職員が、真っ赤な顔で職員室に入ってきました。体からは湯気が立っています。「校長先生、しびれました！」「除雪をしてくださっていたリーダーと思しき方が、『子どもたちの笑顔を思い浮かべながら雪をかけ！』と声をかけながら除雪をされている姿にしびれたんです！」そう話してくれました。

私も痺れました。

なに課のなんという方かもわからないままで、大変失礼ではあるのですが、保護者や地域の皆様にお知らせしたくなり、今ここに記している次第です。

血の通った仕事、プロ意識、カッコいい生き方・・・こんな素敵な大人がいることを子どもたちにも伝え、その思いや生き方に触れさせたいと思いました。

ありがとうございました。

このほかにも、七区はじめ地域の町内会の皆様から、学校周辺の道路の状況を教えていただいたり、通学路の除雪をしていただいていることに感謝申し上げます。皆様から支えていただいていることを子どもたちに伝え、「人の思いや生き方」を学ばせていこうと考えています。